

国際経済政策コース履修モデル

経済活動の国際化により世界各国の経済の相互依存度は益々高くなっています。このため、ある国の経済活動が他の国々の経済に及ぼす影響が以前に比べてますます大きくなってきました。例えば、アメリカの双子の赤字(財政の赤字と国際収支の赤字)は債券の価格や為替レートの変化を通じて、また、中国の経済発展は原材料価格の高騰を通じて、それぞれ日本のみならず世界の国々の経済に影響を及ぼしています。このため、ある国で直面している経済問題を解決するための政策を立案する際、その国の経済活動を把握するだけでなく、その国と他の国々との様々な経済的な関係を理解することが必要不可欠になっています。

国際経済政策コースでは国際的な経済の相互依存関係を踏まえ、国や産業レベルでの様々な経済問題のうち特に国際貿易、国際金融、経済開発、環境に関わる諸問題に焦点を当て、これらを解決するための政策を提言する能力を養うことを目的としています。

国際的な経済の関係を理解するためには経済活動の基になっている行動原理から導かれる様々な経済法則の理解が必要となります。そこで、当コースでは貿易、国際金融、経済開発の基礎的な経済法則を学習します。これに加えて、経済法則に基づいて作成された経済モデルを用いて現実の経済の分析を行うために必要な分析道具を学習する科目や、中国、東南アジア、アメリカ、EU などの世界の各地域を研究する科目をそれぞれ提供しています。テーマ別に国際貿易・国際金融と開発・環境の二つに大別した下記の履修モデルを参考にしてください。

国際経済政策コース 履修モデル1:国際貿易・国際金融

区分	科目名
必修科目 A 群	
1・2 年次	入門セミナー I・II、経済学入門(ミクロ)、経済学入門(マクロ)、国際経済学入門
選択科目 A 群	
1・2 年次	国際経済政策入門、開発経済学入門 I・II、社会科学のための数学入門 I・II、社会科学のための統計学入門 I・II、情報と組織の経済学、グローバル経済史など
2 年次	金融 I・II、ミクロ経済学 I・II、マクロ経済学 I・II、国際政治経済学概論、プリゼミ
選択科目 B 群	
2 年次	経済情報分析入門、日本経済、国際貿易 I・II、ゲーム理論 I・II、国際産業論 I など
3・4 年次	国際金融とデータサイエンス I・II、ミクロ経済学中級 I・II、マクロ経済学中級 I・II、計量経済学 I・II、国際産業論 II など
選択科目 C 群	
2 年次	地域研究(アジア経済) I、地域研究(EU 経済)、地域研究(アメリカ経済)など
自由選択科目	
2 年次	国際会計 I・II
3・4 年次	コーポレートファイナンス I・II、など

国際経済政策コース 履修モデル 2: 開発・環境

区分	科目名
<u>必修科目</u> A 群	
1・2 年次	入門セミナー I・II、経済学入門(ミクロ)、経済学入門(マクロ)、国際経済学入門
<u>選択科目</u> A 群	
1・2 年次	国際経済政策入門、開発経済学入門 I・II、社会科学のための数学入門 I・II、社会科学のための統計学入門 I・II、情報と組織の経済学、グローバル経済史など
2 年次	金融 I・II、ミクロ経済学 I・II、マクロ経済学 I・II、国際政治経済学概論、プリゼミ
<u>選択科目</u> B 群	
2 年次	経済情報分析入門、日本経済、開発経済学 I・II、国際環境経済政策論、環境リスクガバナンス、ゲーム理論 I・II、国際産業論 I、国際公共経済学、政治経済実証分析など
3・4 年次	計量経済学 I・II、多国籍企業論 I・II、国際産業論 II など
<u>選択科目</u> C 群	
2 年次	地域研究(アジア経済) I、地域研究(EU 経済)、地域研究(アメリカ経済)
<u>自由選択科目</u>	
2 年次	国際会計 I・II、グローバル経営論 I・II、グローバル・ガバナンス概論 I・II など
3・4 年次	コーポレートファイナンス I・II、など

国際経済政策コース 履修モデル 3:大学院進学を希望するなら最低限履修しておきたい科目
 進学希望をもっている学生にとって、必須となる基礎の理論および分析手法を取り上げた。

区分	科目名
<u>選択科目</u> A 群	
1・2 年次	社会科学のための統計学入門Ⅰ・Ⅱ、社会科学のための数学入門Ⅰ・Ⅱなど
2 年次	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ
<u>選択科目</u> B 群	
2 年次	国際貿易Ⅰ・Ⅱ、ゲーム理論Ⅰ・Ⅱなど
3・4 年次	国際金融とデータサイエンスⅠ・Ⅱ、ミクロ経済学中級Ⅰ・Ⅱ、マクロ経済学中級Ⅰ・Ⅱ、計量経済学Ⅰ・Ⅱなど

国際ビジネスコース履修モデル

当コースは、経済学を基礎として、国際ビジネスに対する視座とスキルを養うことを目的としている。そこで、企業行動の分析能力を養う履修モデル、企業マネジメントの基礎を学ぶ履修モデル、特定の地域研究を中心にした履修モデルが考えられる。

国際ビジネスコース 履修モデル1:企業行動の分析力を養う

区分	科目名
<u>必修科目</u> A 群 1・2 年次	入門セミナー I・II、経済学入門(ミクロ)、経済学入門(マクロ)、国際経済学入門
<u>選択科目</u> A 群 1・2 年次	国際ビジネス入門、情報と組織の経済学
2 年次	ミクロ経済学 I・II、金融 I・II、プリゼミなど
<u>選択科目</u> B 群 1 年次	簿記論 I A・I B
2 年次	経済情報分析入門、ビジネス・マネジメント I・II、ゲーム理論 I・II、国際産業論 I など
3・4 年次	ビジネス・エコノミクス、国際産業論 II、多国籍企業論 I・II、ミクロ経済学中級 I・II など
<u>選択科目</u> C 群	
<u>自由選択科目</u> 2 年次	日本経済

国際ビジネスコース 履修モデル2:企業マネジメント(会計・ファイナンス・マーケティング・組織)の基礎を学ぶ

区分	科目名
<u>必修科目</u> A 群	
1・2 年次	入門セミナー I・II、経済学入門(ミクロ)、経済学入門(マクロ)、国際経済学入門
<u>選択科目</u> A 群	
1・2 年次	国際ビジネス入門、情報と組織の経済学
2 年次	ミクロ経済学 I・II、金融 I・II、プリゼミなど
<u>選択科目</u> B 群	
1 年次	簿記論 I A・I B
2 年次	経済情報分析入門、国際会計 I・II、ビジネス・マネジメント I・II、国際産業論 I など
3・4 年次	ビジネス・エコノミクス、管理会計論 I・II、国際産業論 II、多国籍企業論 I・II、コーポレートファイナンス I・II、ミクロ経済学中級 I・II など
<u>選択科目</u> C 群	
<u>自由選択科目</u>	
2 年次	簿記論 II A・II B

国際ビジネスコース 履修モデル3:特定の地域に関する理解を深める(例:アジア地域の場合)

区分		科目名
<u>必修科目</u> A 群	1・2 年次	入門セミナー I・II、経済学入門(ミクロ)、経済学入門(マクロ)、国際経済学入門
<u>選択科目</u> A 群	1・2 年次	国際ビジネス入門、情報と組織の経済学、グローバル経済史など
	2 年次	ミクロ経済学 I・II、金融 I・II、プリゼミなど
<u>選択科目</u> B 群	1 年次	国際経済学特講 I
	2 年次	経済情報分析入門
	3・4 年次	ビジネス・エコノミクス、国際産業論 II、多国籍企業論 I・II など
<u>選択科目</u> C 群	2 年次	地域研究(アジア経済) I、地域研究(EU 経済)、地域研究(アメリカ経済)
<u>自由選択科目</u>	2 年次	日本経済、開発経済学 I・II、韓国文化論
	3・4 年次	中国文化論など